

科目名	音楽3(演習)		科目ナンバー	CC-EP1255-CP		
担当者 (実務経験名)	教授 桑原 哲章(演奏家) 講師 大年 真理子(演奏家)					
履修期	2年 前期		卒業単位	必修 1単位		
免許・資格	保育士選択・こども音楽療育士必修					
授業概要	子どもたちにとって音楽は、豊かな心身の成長には欠かせないものです。そのため、保育者は音楽を通じた保育の実践の中で、表現を感じし引き出す力、子どもたちと共に音楽を楽しむ力を持っていることが求められています。本科目では、1年次に身に付けた基礎力を元に、弾き歌いや歌唱の力を更に伸ばしていきます。前期終了後に始まる実習に向けて、曲のレパートリーを増やしていきます。					
到達目標	知識・理解	音楽の演奏に必要な基礎的な楽典を理解し、楽譜からの情報を読み取ることができる。				
	思考・判断	子どもの歌の調性判断ができ、スケールの調性と子どもの歌の調性との関係性を理解できる。 1年次の楽典の学びを活かし、弾き歌い演奏に結び付けることができる。 自身の課題を把握し、練習を進めることができる。				
	興味・意欲・態度	レッスンの課題に向き合い、見通しをもって日々練習を重ねることができる。 毎時間のレッスンにおける教員からのアドバイスや自分の気づきを、的確に振り返り、次につなげることができる。				
	技能・表現	主要和音での【コード奏法】による弾き歌いができる。 自身の現状を把握した上で練習を継続し、音楽的技能(ピアノや歌唱)の力を高めていくことができる。				
授業計画	授業内容		事前事後学習内容			時間 (時間/週)
	1	オリエンテーション・春休みの課題曲演奏	春休みの課題曲を練習する			1
	2	弾き歌いレッスン①「おはよう(あさのうた)」	「スケール」「おはよう(あさのうた)」を練習する			1
	3	弾き歌いレッスン②「おかえりのうた」	「スケール」「おかえりのうた」を練習する			1
	4	弾き歌いレッスン③「おべんとう」	「スケール」「おべんとう」を練習する			1
	5	弾き歌いレッスン④「おかたづけ」	「スケール」「おかたづけ」を練習する			1
	6	弾き歌いレッスン⑤「かたつむり」	「スケール」「かたつむり」を練習する			1
	7	弾き歌いレッスン⑥「季節の歌」	「スケール」「季節の歌」を練習する			1
	8	弾き歌いレッスン⑦「園生活の歌」	「スケール」「園生活の歌」を練習する			1
	9	弾き歌いレッスン⑧「発表会演奏曲」	「スケール」「発表会演奏曲」を練習する			1
	10	発表会(弾き歌い)	「スケール」「発表会演奏曲」を練習する			1
	11	弾き歌いレッスン⑨「行事の歌」	「スケール」「行事の歌」を練習する			1
	12	弾き歌いレッスン⑩「世界の歌」	「スケール」「世界の歌」を練習する			1
	13	弾き歌いレッスン⑪「日本の歌」	「スケール」「日本の歌」を練習する			1
	14	弾き歌いレッスン⑫前期試験曲	「スケール」「前期試験曲」を練習する			1
	15	弾き歌いレッスン⑬前期試験曲 /まとめ	「スケール」「前期試験曲」を練習する			1
成績評価方法		知識・理解	思考・判断	興味・意欲・態度	技能・表現	評価割合
	筆記試験					
	レポート					
	課題	○	○	○	○	20%
	実技	○	○	○	○	70%
	受講状況・態度	○	○	○	○	10%
	その他()					
フィードバックの方法	レッスンの中で、その時々課題等を伝えていきます。					
教科書	『あなたも弾ける やさしい童謡唱歌集』(同文書院)・適宜プリント資料配布					
参考書	『おんがくのしくみ』(教育芸術社)・『これだけは知ってほしい楽典 はじめの一步』(カワイ出版)					
アクティブ・ラーニング	個人レッスンを積み重ね、皆の前で自身の学びを発表したり共有したりします。そして、日々考えながら練習を重ね、発表する機会をもちながら音楽の力を身につけるアクティブラーニングです。					
ICT活用	アーティストや、現場の保育者による映像を視聴することで得られる学びもあります。積極的にICTを活用しましょう。ただし授業時間内では、演奏技能の練習に集中するため、授業時間外の自主学習において利用することとします。					
メッセージ・備考	実習や、就職活動が迫る大切な期間です。あなたの奏でる音を子どもたちはどのように感じるでしょうか。「弾けた」「歌えた」というその先に、その音を聴き感じる子どもたちがいることを忘れず、計画的に歌やピアノなどの練習を継続しましょう。					
関連科目	音楽1・2・4、子どもの音楽、幼児と表現					